

大分大学医学部 卒業認定・学位授与の方針 (DP:ディプロマ・ポリシー)

【看護学科】

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を育てます。この教育目標を踏まえ、学士課程を通じて以下に示す資質、知識や能力を修得した学生に対して、学位を授与します。

1. 専門的知識と技能の活用

看護学と関連諸科学の知識を基盤に、人間を身体的・精神的・社会的存在として統合的に理解した看護実践を展開できる。また、修得した看護基本技術を看護実践に適確に実施し、対象との援助関係を発展させることができる。

2. コミュニケーション能力

看護の対象となる人に対して、個人の権利と多様な価値観を認め、それを基盤とした人間関係を発展させることができる。また、保健・医療・福祉チームにおいて各々の専門性を尊重し、連携・協働することができる。

3. 創造的問題解決力

専門職として看護現象を科学的にとらえ、問題解決思考を用いて科学的・系統的な看護実践を展開する。この看護実践を通して、看護の本質を探究することができる。

4. 社会的責務と倫理

看護専門職に必要な社会的責務を自覚し、常に人間の生命や尊厳を尊重し、一人ひとりにとってより良い看護を考え実践することができる。

5. 地域発展・人類福祉への貢献

国内外の各地で生じている健康問題・課題に関心を持ち、解決のための方策を考えることができる。

6. 生涯学習力

看護専門職としての自己能力を適切・妥当に評価し、必要な学習に自ら取り組むことができる。また、他の学問領域との交流を深める中で、看護学を発展させるための課題を見いだすことができる。

大分大学医学部 教育課程編成・実施の方針 (CP:カリキュラム・ポリシー)

【看護学科】

看護学は、人間の健康問題にかかわる身体的、精神的、社会的側面のあらゆる反応に対して、その恒常性の維持と健康の増進を図るため、Science と Art を統合した実践科学である。

看護学科は、人間への深い洞察力と豊かな人間性を養い、将来、臨床、教育、管理及び研究分野において、リーダーシップを発揮し得る能力を備えた人材を育成することに重点をおいたカリキュラムを基本とし、以下の方針で教育課程を編成・実施する。

1. 「教養教育科目」、「専門基礎科目」及び「専門教育科目」（看護学全般、統合分野・看護研究、臨地実習）による編成とし、早い時期から看護学に触れる機会を提供するため、1年次から4年次までくさび型に配置する。また、学生の多様な興味と関心にそえるように選択科目を多く設ける。
2. 「教養教育科目」では、人間の生命の尊重・人権の尊重・人間の理解などを通して人間的成長を促す。
3. 「専門基礎科目」は「専門教育科目」へ発展するための基盤となるものであるため、看護学の主要概念である人間、健康、環境に関する知識の習得を図る。
4. 「専門教育科目」では、講義、演習、実習などの学習過程を通して、看護の理論と実践を有機的に統合し専門職としての基礎教育を行い、看護実践能力の基盤となる知識・技術の習得を図る。
5. 「臨地実習」では、教室で学んだことを臨地で確かめ、理論と実践をつなげていけるように、1年次から4年次まで学習過程に合わせて段階的に配置し、看護実践の能力を育成する。